

2019 年度秋田大学医学部医学科授業計画

分類	臨床医学 IV	対象学年	4 年次 必修	時間割コード	71643002-24
授業科目名	病理 臨床実習 (Diagnostic Patholog) - 病理示説 -				
主任教員	大森泰文 (教授、分子病態学・腫瘍病態学講座) 6059 オフィスアワー 通常は勤務時間帯夜 7 時まで 後藤 明輝 (教授、器官病態学講座) 6062 オフィスアワー 水・木曜日全日 (第二病理)				
担当教員	大森泰文 (教授、分子病態学・腫瘍病態学講座) 6059 オフィスアワー 通常は勤務時間帯夜 7 時まで 後藤 明輝 (教授、器官病態学講座) 6062 オフィスアワー 水・木曜日全日 (第二病理) 南條 博 (病院教授、病理部) 6182 オフィスアワー 通常は勤務時間帯夜 山本 洋平 (助教、病理部) 6060 オフィスアワー 通常は勤務時間帯夜 7 時まで 吉田 誠 (助教、器官病態学講座) 6064 オフィスアワー 火・木曜日 9-17 時 (第二病理医局), 水曜日 9-18 時 (病理部または第二病理医局) 西島 亜紀 (助教、分子病態学・腫瘍病態学講座) 6060 オフィスアワー 通常は勤務時間帯夜 7 時まで 廣嶋 優子 (助教、分子病態学・腫瘍病態学講座) 6061 オフィスアワー 通常は勤務時間帯夜 7 時まで				
授業の概要 及び 一般目標 (GIO)	1. 一般目標 (GIO) 実習を通じて病理診断学に対する理解を深める。 2. 到達目標 (SBOs) 医師として最低限身につけるべき病理組織診断学を習得する。 本科目は実務経験のある教員による授業科目です。				
教科書・参考書	病理示説は、旧第一病理と第二病理とが交互に担当し、各グループ毎に剖検例、生検例について検討する。剖検例では臨床 (主訴、徴候と症状、臨床検査成績、臨床経過、臨床診断、治療などと病理 (剖検材料の肉眼的所見、病理組織学的所見、特殊染色や免疫染色の適用などとの関連から疾病の本態、臨床診断の可否や治療効果の如何などについて検討を行う。生検例の場合、適格な病理診断に加え、手術適応や予後との関連についても検討する。病理部においては手術組織における病変の読み方、切り出し方、術中迅速診の実際などについても習得する。分子診断と分子標的治療 (臨床腫瘍学の立場から) について理解する。				
成績評価の方法	レポート、実習態度、出席率、積極性				
その他・ メッセージ等	偶数グループは分子病態学・腫瘍病態学講座 (旧第一病理) が担当する。 奇数グループは器官病態学講座 (旧第二病理) が担当する。 集合時間 分子病態学・腫瘍病態学講座-9:00 医局 (内線 6061) 器官病態学講座-9:00 医局 (内線 6064)				

病理 臨床実習

授 業 展 開		授 業 内 容
第 1 回 副題 担当	月曜日 [9:00-17:00] 病理示説 講座スタッフ	病院病理部の業務の理解と診断過程への参加を体験する。
第 2 回 副題 担当	火曜日 [9:00-17:00] 病理示説 講座スタッフ	剖検例の供覧, 検討。病理解剖症例の臨床事項や検査データを検討し、病態を把握する。
第 3 回 副題 担当	水曜日 [9:00-17:00] 病理示説 講座スタッフ	剖検例の供覧, 検討。病理解剖症例の臨床事項や検査データを検討し、病態を把握する。
第 4 回 副題 担当	木曜日 [9:00-17:00] 病理示説 講座スタッフ	症例の病態についてまとめる。
第 5 回 副題 担当	金曜日 [9:00-14:00] 病理示説 講座スタッフ	症例の病態についてまとめる。病変についての形成試験を行う。